

九州地区における肺移植準備状況

—九州肺移植検討会の活動—

白石 武史¹⁾ 川原 克信²⁾ 樋口 隆男¹⁾
平山 伸¹⁾ 山本 聡¹⁾ 平塚 昌文¹⁾
岩崎 昭憲¹⁾ 岡林 寛³⁾ 白日 高歩¹⁾

¹⁾福岡大学医学部第2外科

²⁾大分大学医学部第2外科

³⁾国立療養所福岡東病院呼吸器外科

要旨：わが国において脳死臓器移植が開始され5年が経過した。しかし実施件数（脳死臓器提供）は年間10件以内で推移しており年次増加も現在のところ明らかではない。臓器移植を定着させるためには、新しい治療概念である「移植医療」そのものの啓蒙に勤め、市民の理解を得ねばならない。我々は、臓器移植法制定と前後して九州肺移植検討会を組織し、将来の九州地方における肺移植開始に備えるとともに地域における肺移植啓蒙に努力した。過去10回の開催を通して27例の症例を評価し、10例を肺移植の適応と判断、2例を肺移植実施施設に紹介した。本稿では九州肺移植検討会の活動を通して九州における肺移植準備状況を報告する。

索引用語：肺，臓器移植，脳死臓器提供

